

## 地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 灘水仙の里	代表者名	理事長 丸野 登志子
事業名	坂道が生み出す絶景ポイントで暮らす高齢者の移動&サポート支援		

### <事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
30年4月～31年3月	地域交流すけっとクラブ支援事業実施計画 助け合い事業福祉車両による移動支援体制 （買物や診療所、病院へ受診等の送迎（5～6回／週程度）の利用がある。
30年4月～31年3月	地域交流すけっとクラブ支援事業 助け合い事業福祉車両の講習会を開く。〔5月〕 移動支援車両運転者講習を受ける。〔3/27〕
30年4月～31年3月	地域交流ハウス事業『健康教室カイトサロン』継続 （1回／月）8～10名の方が参加される。 （10月～12月支援者の都合により健康教室を休止しました。）
30年4月～31年3月	地域づくり委員会に参加して地域活動に参加協力する。 （2～3回／年）
30年4月～31年3月	淡路島ロングライト 150 灘エイドステーション、夕涼み会へ参加、協力。 〔8月、9月〕
30年4月～31年3月	ビジョン委員会・まちづくり淡路分科会（淡路県民局）地域再生協議会に参加継続する。 （1回／月）
30年4月～31年3月	絶景ポイントの写真を地域の外に広めて、田舎暮らしに関心のある人達を呼び込み、地域の活性化に繋げる。
30年4月～31年3月	灘地区老人会総会・敬老の日の交流会に参加、協力する。 〔4月／9月〕
30年4月～31年3月	ネットワークサービス活動事業 ソーシャルネットワークサービスを使って地域の情報や灘水仙の里の活動を島外へ発信する。 （2回／月）
30年8月28日	「支え合い社会」県民フォーラムに参加パネリストとして講演を行う。

<効果と成果>

・「助け合い事業:すけっとクラブ事業、地域交流ハウス事業:カイロサロン健康教室を行うことで、」

- ①病気の悪化予防で入院が少なくなり、身体のアDL低下予防を図り、施設入所が少なくなる。
- ②日常生活動作が楽になり、転倒予防することで、自宅で不安なく暮らせる。

灘水仙の里のソーシャルネットワーク事業では、

- ①灘水仙の里事業をインターネットで公表することで、過疎化が進む地域の課題が田舎暮らしに関心のある人達に伝わる。
- ②地域交流ハウスの利用者が増えて、地域の活性化が図れる。

◎地域活動への支援が「支え合い社会」県民フォーラムで取り上げて頂き、講演・パネリストとして参加し、地域福祉実践の報告の情報提供を行いました。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	420,000
自己資金	74,345
合計	494,345

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	高齢者の通院等補助	80,850	80,850
	アルバイト賃金	300,000	300,000
	消耗品費	7,007	7,007
	その他(郵便代、広告宣伝費)	27,600	27,600
	小 計	415,457	415,457
	間接経費 (一般管理費)	78,888	78,888
	合 計	494,345	494,345